



第18回「MAJYO365CUP」 ジャイアントスラローム大会 '09町民スポーツ祭 冬季大会 白銀の世界を滑走

1月19日、26日、2月2日に第18回「MAJYO365CUP」ジャイアントスラローム大会が、今庄365スキー場で開かれました。この大会は、スキーの大会競技を楽しんでもらおうと3日間に行われ、3日間の合計ポイントでの順位やその日の成績、ベストラップを競いました。大会には、町内外の小学4年生から72歳までの男女57人がエントリー。選手らは全長700メートル、高低差150メートルのコースで、旗門ぎりぎりのラインを取りながら白銀の急斜面を滑走していました。

また、2月5日には、「09町民スポーツ祭冬季大会」スキー競技も開かれました。開会式では、北村藤徳町体育協会長が「自己ベストを出せるよう頑張ってください」と選手を激励。選手を代表し、今庄地区の眞業奈実さんが「練習の成果を十分発揮し、正々堂々競技することを誓います」と力強く宣誓しました。この大会は、地区対抗種目8部門、オープン種目8部門を設け、小学1年生から74歳までのスキー愛好家50人が出場。スキーを始めたばかりの選手は、確実に旗門を通過するよう丁寧な滑りでゴールを目指し、上級者は鋭いエッジングで果敢な滑りを披露しました。



文化財防火デー 火災防衛訓練 貴重な文化財 火災から守れ!!

1月24日、甲楽城区の二ノ宮神社で文化財防火デーに伴う火災防衛訓練が行われ、南越消防組合南消防署河野分署員や南越前消防団員、甲楽城区自警消防隊員、甲楽城区民ら約30人が参加しました。

訓練は、二ノ宮神社に落雷があり拝殿から出火したとの想定で、区民、自警消防隊員による消火器や小型ポンプでの初期消火活動、消防団員による延焼防止の放水が行われました。また、防火衣、防煙マスクを着用した河野分署員が、拝殿から文化財に見立てた箱を運び出し、水槽車からの水で消火活動を行うなど、参加者は万が一に備えての火災対応を確認しました。

南越前町消費者フォーラム2010 賢い消費者になるために

2月6日、南越前町消費者グループ連絡協議会が南条文化会館で、南越前町消費者フォーラム2010を開催しました。これは、町民一人ひとりが賢い消費者となり、安全で安心して暮らせる地域づくりに役立ててもらおうと開かれたもので、約160人が参加しました。フォーラムでは、現代の日本人の食生活事情や食事で気を配るポイントなどの講演が行われた後、協議会のメンバーらがユーモアも交えながら悪徳商法の被害に遭わないための寸劇を披露。参加者らは、食の世界への関心を高め、豊かな消費生活を送るための理解を深めました。



第35回水仙まつり 河野わんさか冬まつり 荒波フェスタ

1月24日、甲楽城拠点芝生公園付近の駐車場で、河野わんさか冬まつりが開かれました。これは、冬の河野地区の観光を盛り上げようと河野観光協会が初めて企画したものです。越前がにやカレイ、ハタハタなどがどっさり並べられた特産品販売テントは、海産物を安く買いたい人たちにぎわいました。また、カニやホタテの入った300食のカニ海鮮鍋の振る舞いには、おいしそうなおい誘われた家族連れらが長蛇の列をつくり、温かい海の幸を堪能していました。

さらに、水仙まつりを締めくくる荒波フェスタが、1月30日、31日の両日、河野シーサイドパークで開かれ、約1,000人が訪れました。会場の「荒波屋台村」には23店が出店。新鮮な魚介類が販売されたほか、その場で味わえる甘エビやマグロなどが盛りだくさん。炭火焼きされたイカやカニ、ホタテ、おろしそばなどが人気を集めていました。また、1日3回行われた水仙の無料配布には、開始前から行列ができる盛況ぶり。水仙娘が「楽しんでくださいね」と微笑みながら、可憐な甘い香りいっぱいの水仙を手渡すと、用意された200束はまたたく間になくなりました。そのほかにも、セイコガニや河野産梅ワインが当たる大抽選会、風船で水仙や動物を作るバルーンショーなどが行われ、訪れた人たちは水仙まつりのフィナーレを思う存分楽しんでいました。

たくらかまくらまつり たくらの味良しーソリ遊び良しー!

2月7日、リトリートたくらで、たくらかまくらまつりが開かれ、大勢の家族連れらでにぎわいました。

今年も多くのお客さまに恵まれ、会場にはまつりの実行委員会により巨大なかまくらが2基造られました。会場を訪れた子どもたちは、高さ7メートルにもなるかまくらに我々さきにと駆け上がり、寒さを吹き飛ばすほどの大きな歓声を上げ、ソリ遊びを楽しんでいました。また、会場ではシシ肉の炭火焼きや、野菜のたっぷり入った体の温まるシシ汁、つきたてのもちが振る舞われ、ソリ遊びで楽しんだ子どもたちは、かまくらの中でおいしそうにほおばっていました。

羽島若獅子駅伝競走大会 たすきがたなぐ交流

2月11日、第21回羽島若獅子駅伝競走大会が岐阜県羽島市で開かれ、南越前町から南越前町A・C（アスリートクラブ）が出場しました。羽島市とは、旧河野村が昭和63年に姉妹友好提携を結んで以来、文化、教育、産業など色んな分野で交流を深め、その一環としてこの大会にも第2回大会から20年連続で参加しています。

大会は、全長17.2kmを7人でたすきをつなぐコースで、南越前町A・Cは高校生以上の一般男子の部に参加。1時間1分9秒のタイムで、15チーム中、これまでで最高の3位入賞を果たしました。